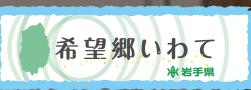


いわての力があなたの明日に。あなたの力がいわての明日に。

平成28年3月1日発行(年5回発行)

第751号



# Iwate no Sato

2016  
3月号

第70回 国民体育大会  
(2015紀の国わかやま国体)  
4位入賞 剣道・成年男子



みんなの力で  
「希望郷いわて」を  
創っていこう!

復興をさらに進め  
未来を拓こう!

特集  
2

P10

いわて県民計画  
「第3期アクションプラン」

特集  
1

P4

震災から5年  
復興実施計画の進捗状況

いわての復興と  
あなたを結ぶ

## まんまるママいわて×沿岸で被災したママたち 『ママを笑顔にする育児サロン』

沿岸と内陸のタグでいわてをもっと元気に!

# 復興の縁結び

復興には、地元の底力とつながりの力が欠かせません。このコーナーでは沿岸と内陸のつながりから生まれた、復興の取り組みをご紹介します。



「まんまるママいわて」のスタッフの皆さん。右から3人目が代表の佐藤美代子さん。

まんまるママいわて

(花巻市)



サロンではハンドマッサージも行われ、ママたちの癒しとなっています。

母親の心に寄り添いながら、  
子育てを支え合う新たな形を！

まんまるママいわて  
震災直後、被災した妊産婦を花巻市に受け入れる事業をきっかけに、助産師と栄養士が中心となり活動開始。沿岸地域をはじめとする県内外各地で育児相談に応える「まんまるサロン」を開催。

支援を始めて、5年。今では助産師・栄養士の他に、「支えてもらつた恩返しをしたい」とサロンを手伝う地元のママスタッフも増えてきました。まんまるの活動は地域のママたちと一緒に、被災地支援から地域の子育て支援へと新たなステージへ動き出しています。

「ここ」では母親を一番にいたわってくれる。それがうれしい」と話すのは、「まんまるサロン」に参加する若いママ。子どもだけではなく、母親の気持ちに寄り添つたケアをしてくれるサロンには、多くのママたちが集まります。

「まんまるサロン」は、助産師や栄養士がいるため、育児の悩みを気軽に相談できるのが特徴。ハンドマッサージなども行い、ママたちの心も体も元気にしています。

「母親は家の要ですから背負う

ものが大きい。これまで我慢して言えなかつた思いを吐露する人も多いんです」と話すのは、まんまるママいわて代表の佐藤美代子さん。母親たちとの信頼関係を築きながら、胸の内を引き出すことが大事だといいます。

いわてから  
新しいステージへ！

# 挑戦のトビラ

いわての元気と  
あなたを結ぶ

第70回 国民体育大会  
(2015紀の国わかやま国体)4位入賞  
vol.10 剣道・成年男子

■プロフィール

国体の剣道成年男子は、先鋒18~25歳、次鋒25~35歳、中堅35~45歳、副将45~55歳、大将55歳以上の年代別チーム構成。いわて国体の強化選手にも指定され、切磋琢磨しながら日々練習に励んでいる。



勝つことで得た自信が、強さの源。  
気迫を持つて、攻めていきたい。

岩手の剣道界の歴史を塗り替え、昨年のわかやま国体。成年男子の部で岩手県は史上初のベスト4進出を果たし、一躍注目されました。長年続いていた初戦敗退の壁を打ち破り、勢いに乗って強豪の大坂、千葉に勝利。西田裕いわて国体で勝つため、戦略的に強化に取り組んだ結果が現れました。

國体の剣道競技は引き分けが多く、勝負がつくまで試合は続きます。選手たちは攻めの姿勢を徹底的に指導され、素振り一本にも気力を抜かず基礎鍛錬に取り組むとともに、決勝戦まで勝ち切る気力と体力の増強に励んでいます。

いわて国体強化選手で、わかやま国体で次鋒を務めた古館将選手は「努力すれば結果に表れるということを、試合を通じて県民の皆さんにお伝えしたいです」と、いわて国体で次鋒を務めた古館将選手は「努力すれば結果に表れるということを、試合を通じて県民の皆さんにお伝えしたいです」と、いわて国体に向けて抱負を語ります。選手たちの厳しい稽古を見つめる西田強化責任者も、「個々人の潜在能力は高いので、自信さえ持てば、それを發揮できます。目標は成年男女、少年男女の4種別での完全制覇です」と、チーム一丸となって頂点を目指します。



全国トップレベルの実力を持つ指導者を招いて、基本に立ち返る練習が続けられています。

「チーム力は確実に上がっています」と西田強化責任者。



CHECK!  
YouTube  
剣道成年男子の  
練習風景やメッセージが  
ご覧になれます。

携帯電話で、右上の二次元バーコードを読み込むか、パソコンなどの検索エンジンで「いわてグラフYouTube」で検索。

みんなで応援しよう！ 会期：平成28年10月8日(土)～10日(月・祝)  
【希望郷いわて国体剣道競技】 会場：二戸市総合スポーツセンター(二戸市)  
マスコットキャラクター「わんこきょうだい」

# + 安全の確保

## 交通ネットワークの整備



◎平成27年11月に三陸沿岸道路「吉浜道路」が、同年12月に東北横断自動車道釜石秋田線「遠野～宮守」間がそれぞれ開通しました。平成30年度には東北横断自動車道釜石秋田線が全線開通の見通しとなるなど、早期全線開通を目指し、着実に整備が進められています。

◎JR山田線の宮古～釜石間は、JR東日本の支援を受けて三陸鉄道が運営することになり、平成27年3月から復旧工事が進行中。JR大船渡線の盛～気仙沼間は、BRT(バス高速輸送システム)による本格復旧が決定し、今後利便性の向上が図られることになっています。

富古市の重茂半島を周回する県道重茂半島線は、住民の唯一の生活道路。しかし、震災時には道路が寸断され、住民は長期間に渡って孤立を余儀なくされました。このため県では、同規模の津波が来ても浸水せずにスマートに避難や救助ができる災害に強い道路を、富古市・山田町の7地区で整備しています。「通常では考えられないスピードで工事が進んでいます。一人で何役もこなさなければなりませんが、みんな復興に對する志が高く刺激を受けますね」と話すのは、応援派遺職員の小柳徳光さん。1月から本格着工し、沿岸広域振興局土木部一日も早い完成を目指して整備を進めています。



## 防災のまちづくり

◎防潮堤や水門などの海岸保全施設は、復旧・整備が必要な134カ所のうち平成27年12月末現在で131カ所で工事に着手し、25カ所で工事が完了。災害に強い安全なまちづくりを進めています。

◎復興のまちづくりにかかる宅地供給は、予定数8,012区画のうち平成27年12月末現在で全区画が着工、約23%にあたる1,816区画が完成しています。



宅地供給区画数	(平成27年12月末現在)
予定宅地区画数8,012区画	
供給区画数 1,816 区画	

完成 23% 整備中 77%

## 災害に強い道路を整備中!



1月7日に行われた着工式には、宮古市立重茂小学校の児童47名も参加。工事関係者に感謝と激励の言葉を贈りました。



# 特集 1

## 震災から5年 復興実施計画の進捗状況

### 本格復興を完遂し、ふるさと振興のスタートダッシュをする1年に

3月11日、あの東日本大震災津波から、5年がたちます。犠牲になられた方々に、謹んで哀悼の意を表します。

また、いまだ応急仮設住宅などで不自由な生活を送られている方々をはじめ、被災者の皆さんに心からお見舞いを申し上げます。そして、県の内外から復興を支援してくださっている大勢の皆さんに深く感謝いたします。

平成27年は、3月にJR山田線宮古～釜石間の復旧工事が開始、県立高田高校の新校舎が完成、7月には、県内で初めて大船渡市の仮設商店街が本設移転オーブンしました。そ

して、11月には、復興道路の三陸沿岸道路「吉浜道路」、12月には、東北横断自動車道釜石秋田線「遠野～宮守」間が開通するなど、安全、暮らし、なりわいを支える復興事業が着

実に進んでいます。

平成28年度は、復興計画における本格復興期間の最終年度です。災害公営住宅は、平成28年度中に約9割の完成を目指します。また、心と体の健康や、新たなコミュニティの形成など、地域や被災者一人ひとりが抱える課題に寄り添った支援をしっかりと進めていきます。

「復興」と「ふるさと振興」の取り組みは、今を生きる県民の切実な要望に応え、今、目の前にある課題を解決することで、未来を切り拓く取り組みです。

希望郷いわての実現に向けて、県民一人ひとりが主役となつて、復興とふるさと振興に全力で取り組んでいきましょう。

希望郷いわての実現に向けて、県民一人ひとりが主役となつて、復興とふるさと振興に全力で取り組んでいきましょう。

岩手県知事  
達増 拓也



# 暮らしの再建

## 教育

- ◎被災した沿岸地区の公立学校86校のうち、平成27年12月末現在で68校(79.1%)が復旧工事を完了。現在18校が整備中であり、早期復旧を目指して急ピッチで工事を進めています。
- ◎平成28年3月に、岩泉町立小本小学校・中学校の新校舎が完成します。他の市町村立学校についても復旧整備が進んでおり、平成28年度末までにほぼすべての整備を完了する予定です。



平成28年3月に完成する小本小・中学校の新校舎

- ◎震災津波の記憶を風化させることなく、郷土を愛し、岩手の復興・発展を支える人材を育成するため、県内すべての公立小・中学校、県立高等学校、特別支援学校において「いわての復興教育」を実施。各学校の実情に応じた教育活動を展開しています。

が始まります。  
康づくりの取り組み  
地域では自主的な健  
康づくりの取り組み  
事業を足がかりに  
める貴重な機会。同  
時に地域で活動は住民同士が一緒に  
楽しむにしている」と  
笑顔を見せます。活  
動は住民同士が一緒に  
楽しむにしている」と  
高齢者の皆さん。「外  
出のきっかけになり  
康づくりを支援する事業を開催しています。参加者は仮設住宅などで暮らす  
地元在住講師による体操講座や料理教室などを



## 保健・医療・福祉

- ◎被災した県立大槌病院、山田病院、高田病院は、現在、仮設診療施設で診療を行っています。大槌病院・山田病院は平成28年度、高田病院は平成29年度の開院に向けて新築整備を進めています。



現在建設工事中の大槌病院

- ◎被災者の健康づくりをサポートするため、健康相談や健康教育、栄養や運動指導を行う健康教室、歯科検診・歯科相談を実施しています。また介護予防教室やふれあい運動教室を開催し、高齢者の健康づくりや生きがいづくりを進めています。



運動を楽しむ皆さん

- ◎精神的負担を抱えている被災者を支えるため「岩手県こころのケアセンター」を設置し、こころの健康に関する相談や訪問などを実施しています。また、「いわてこどもケアセンター」を設置し、被災した子どものこころの専門治療を行っています。

## 被災者の健康づくりを支援中!



大槌町の高齢者等サポートセンター「ぬくっこハウス」で郷土料理づくりを楽しむ住民の皆さん。講師は地元の栄養士さんです。

「NPO法人いわてNPOフォーラム21」は、平成25年度から県の委託を受け、住民の自主的健

## 住宅の整備・再建

- ◎県と市町村で災害公営住宅の整備を進めています。平成27年12月末現在で整備予定戸数5,771戸のうち、4,559戸(79%)に着工し、2,748戸(48%)が完成、1,811戸(31%)が整備中。平成28年度中には、整備予定戸数(5,771戸)の約9割の整備を完了する予定です。

### 災害公営住宅整備状況 (平成27年12月末現在)

整備予定戸数5,771戸	着工 79%	未着工 21%
完成 48% 2,748戸	整備中 31%	



陸前高田市板ヶ沢地区で工事が進む災害公営住宅

- ◎自宅が全壊などの被害を受けた被災者世帯が、県内に自宅を建設または購入する場合に補助が受けられる、被災者住宅再建支援事業を実施。住宅再建相談会も開催し、ファインシャルプランナーや建築士などの専門家が、生活設計も含めた相談に応じています。

## 雇用・就業の機会の創出

- ◎補助金や融資を受け、将来的に被災地の雇用創出の中核となることが期待される事業所が、被災者を1年以上雇用する場合に、雇い入れに係る費用に対して「事業復興型雇用創出助成金」を支給し、長期・安定的な雇用を促進しています。

平成26年度 までの助成対象 労働者数	年度	人数
	平成23年度	139人
	平成24年度	5,332人
	平成25年度	7,900人
	平成26年度	4,270人
	合 計	17,641人

## 生活再建に向けた相談・支援

- ◎久慈・宮古・釜石・大船渡に「被災者相談支援センター」を設置し、生活再建などに関するさまざまな相談に応じています。弁護士、司法書士、ファインシャルプランナーなどによる専門家相談も無料で実施しています。

### ■被災者相談支援センター

久慈地区 ☎0120-934-755 宮古地区 ☎0120-935-750  
釜石地区 ☎0120-836-730 大船渡地区 ☎0120-937-700

■岩手県庁被災者専用相談ダイヤル  
☎0120-180-279(いわてにつなぐ)

沿岸各地域で進められている、災害公営住宅の建設。平成28年度中に整備予定戸数の約9割の整備完了を目指しており、完成した住宅から入居が始まっています。応援派遣職員の藤田愛さんは、宮古市の災害公営住宅3棟の工事監理を担当。「一日でも早く入居していただけるように、何よりも工期を最優先。職人さんの手配が大変でしたが、予定通り完成することができました」と話します。一日も早い完成を目指し、被災者の皆さんの状況や二一七に合わせた災害公営住宅の整備を進めています。

県土整備部建築住宅課  
主任 藤田 愛さん  
(和歌山県からの応援派遣職員)

藤田さんが工事を手がけた宮古市八木沢地区的災害公営住宅

## 災害公営住宅を整備中!



# なりわいの再生



## 商工業・観光の復旧・復興



仮設商店街から本設店舗  
移行した大船渡市の「三陸  
サイコー商店会」

◎専門家による経営支援や各種の資金支援事業により、被災した事業所のうち約74%の事業所が営業を再開しています。また、被災地での起業支援や販路回復・拡大のための新商品開発支援などを行っています。



◎三陸の多様な観光資源を生かした誘客や情報発信、震災学習を中心とした教育旅行の誘致などにより、県内主要観光地の観光入込客数は概ね震災前の水準まで回復。平成27年度は、橋野鉄鉱山の世界遺産登録を契機とした誘客や、Wi-Fi環境・外国語表示などの整備補助を実施するなど外国人観光客の受け入れに向けた取り組みを進めています。

### 主要観光地の入込客数 (平成27年12月末現在)

震災前(H22)417.4万人回

平成27年度  
411.1万人回 **99%**

## 水産業の復旧・復興



朝の漁でにぎわう宮古漁港の様子

### 魚市場の水揚量

震災前3年間(H20~22)の平均169,627トン

平成26年度  
138,381トン **82%**

### 養殖生産量

震災前3年間(H20~22)の平均47,478トン

平成26年度  
28,873トン **61%**

## 農地の復旧・整備

◎被災した農地の復旧を進め、平成27年12月末現在で471haの復旧が完了しました。

## 三陸創造プロジェクト(国際的研究交流拠点形成プロジェクト)

### 海洋エネルギーを活用した研究拠点の構築と産業創出を進めています。

海のエネルギーを活用した波力発電や洋上風力発電は、地球温暖化防止への貢献が期待される新たな電力。平成27年4月、豊富な海洋資源を有する釜石沖が「実証フィールド」に選ばれ、海洋再生可能エネルギーの研究拠点を構築する取り組みが進行中。地元企業も研究開発に参加して、新しい産業創出に向けたさまざまな挑戦を行っています。

また、今後の地域振興に向け、洋野沖の遠浅で風力ポテンシャルの高い環境を生かした、洋上風力発電の可能性について話し合いを行うなど、住民の皆さんと一緒に取り組みを進めています。



地元漁業者や商工会関係者が集まつて議論する「いわて沿岸北部海洋再生可能エネルギー研究会」。



釜石沖での実験に向けて、さまざま調査を行っています。



釜石高校では英国の海洋エネルギー研究拠点を訪問し、地元の高校生と一緒にワークショップを行いました。

津波が市街地に侵入し、甚大な被害を受けた大船渡市三陸町綾里地区。水産業を中心とするこの地域にとって、漁港の復旧・復興は住民の切なる願いです。平成23年12月に着任し、平成24年度から綾里漁港の整備に取り組んでいるのが、応援派遣職員の片岡聰さん。「4年間の工事でようやく全体像が見えてきたところ。それだけ規模も大きいのですが、少しでも早く工事を進めたいですね」と話します。平成30年度の工事完了を目指し、防波堤や岸壁、防潮堤などの整備が急ピッチで進められています。



(高知県からの応援派遣職員)  
主任 片岡 聰さん

### 「カイゼン」を実践中!



カイゼンを導入した新工場の生産ライン

学校給食や業務用のイカ加工を手がける、釜石市の株式会社井戸商店。津波で本社工場を含む3工場が損壊したもの、震災の一ヶ月後には事業を再開。いち早く復興の一歩を踏み出しました。前々から「カイゼン」の手法を学んでいた大橋武一社長は、新工場の設計にその思想を反映し、平成24年5月には新工場が稼働。「カイゼンの導入は、生産ラインの効率化はもとより、会社全体のコストや無駄の削減にもつながっています」と、大橋社長。若手11名も新規採用し、三陸で一番の優良企業を目指し一丸となって取り組んでいます。



いわての明日と  
あなたを結ぶ

# みんなの力で「希望郷 いわて」を創っていこう!

## 政策推進目標

東日本大震災津波からの復興をゴールに向かって進めるとともに、ふるさと振興を軌道に乗せ、県民一人ひとりが希望を持てる「希望郷いわて」への道筋を確かなものとする

産業・雇用  
「産業創造県  
いわて」の実現

農林水産業  
「食と緑の創造県  
いわて」の実現

医療・子育て・福祉  
「共に生きる  
いわて」の実現

安全・安心  
「安心して、心豊かに  
暮らせるいわて」の実現

教育・文化  
「人材・文化芸術の  
宝庫いわて」の実現

環境  
「環境王国いわて」  
の実現

社会資本・公共交通・情報基盤  
「いわてを支える  
基盤」の実現

これまでの成果・課題を  
踏まえた新たなプラン

「希望郷いわて」の実現に向けて新  
たなアクションを起こしていきます。

### 政策編 教育・文化

#### みんなでスポーツに親しみ スポーツの力で地域を元気に



希望郷いわて国体・希望郷いわて大会後には、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が続きます。誰もがスポーツに親しむことができる環境づくりに向けて、間近で活躍しているのが本県のプロスポーツチーム。サッカーでは、「県民の皆さんに“岩手の誇り”と思ってもらえるよう頑張ります」とJリーグで奮闘するグルージャ盛岡。バスケットボールでは、「岩手に夢や希望を与えるプレーを」と意気込む岩手ビッグブルズ。両チームの活躍が、県民の皆さんに希望と勇気を与えています。

### 政策編 産業・雇用

#### ILCってなに? 岩手はどう変わる? 女子学生たちが小学生に出前授業



左から「岩手大学工学ガールズ」の  
鎌田栄さん(2年)と和田由紀さん(2年)。  
「ILC」が実現すれば、  
岩手で世界の最先端が学べるか  
も」と和田さん。

「国際リニアコライダー(ILC)」への関心を高めてもらうため、「岩手大学工学ガールズ」が活躍しています。工学部の魅力発信などを目的に発足した工学ガールズは、県の依頼を受けて、小学校高学年を対象としたILC出前授業を実施。「分かりやすく楽しい授業を心がけています」とメンバーの鎌田栄さんが話すように、実験や自分で考える問題を取り入れるなど、興味を引く工夫がいろいろ。授業を受けて「研究者になりたい」「ILCで働きたい」という児童も出てくるなど、少しずつ理解が広がっています。

### いわて県民計画「第3期アクションプラン」 (平成27~30年度)

#### 政策編 地域編 行政経営編



「希望郷いわて」の実現に向けたこれまでの成果や課題を踏まえた新たなプランとして、県民計画(以下、県民計画)。これは、県における政策推進の方向や具体的な取り組みを示したものであり、県民の皆さんがそれぞれの希望に向かって行動していくための羅針盤となるものです。第3期アクションプランは、県民計画に掲げた「希望郷いわて」の実現に向けた取り組みの総仕上げを行うプランです。これまでの成果や課題などの検証・分析を踏まえながら、向かって取り組みの総仕上げを行う

希望あふれる岩手を実現するため、平成21年度から10年計画でスタートした『いわて県民計画』(以下、県民計画)。これは、県における政策推進の方向や具体的な取り組みを示したものであり、県民の皆さんがそれぞれの希望に向かって行動していくための羅針盤となるものです。第3期アクションプランは、県民計画に掲げた「希望郷いわて」の実現に向けた取り組みの総仕上げを行うプランです。これまでの成果や課題などの検証・分析を踏まえながら、向かって取り組みの総仕上げを行う

希望あふれる岩手を実現するため、平成21年度から10年計画でスタートした『いわて県民計画』(以下、県民計画)。これは、県における政策推進の方向や具体的な取り組みを示したものであり、県民の皆さんがそれぞれの希望に向かって行動していくための羅針盤となるものです。第3期アクションプランは、県民計画に掲げた「希望郷いわて」の実現に向けた取り組みの総仕上げを行う

### 復興とふるさと振興を 進めるアクションプラン

地域編 県央広域振興圏



いわての農業に新しい風を!  
若者たちの挑戦が地域を変える。



毎月1回、盛岡市のMOSSビル前で農産物を販売する「プラスワンマルシェ」を開催する若者たちがいます。彼らは、県央圏域の若手生産者。自分たちの農産物を食べてもらう機会を増やし、消費者とつながる場を持ちたいと、平成27年6月から活動を始めました。「イベントだけではなく、盛岡市内の飲食店に継続的に農産物を届ける仕組みをつくりたい」と話すのは、リーダーの橋本幸之輔さん(株式会社銀河農園代表取締役)。複数の場所でマルシェの開催を模索する一方、生産者を取りまとめて飲食店に配達できるルートを検討中。若者たちの挑戦から、新たな農業の可能性が育ち始めています。

若手生産者が開催している「プラスワンマルシェ」の様子。ディスプレイもおしゃれです。

「農協や産直だけでなく、販売の新たな場と形をつくりたい」と話す、リーダーの橋本幸之輔さん。

いわて県民計画「第3期アクションプラン」では、各広域振興圏それぞれの地域の特性を生かした取り組みを進めていきます。

# 育てていこう! 地域の個性を生かし、 新たな未来を

地域編 県北広域振興圏



平成27年度から始まった水稻の作付け。年々規模を拡大していく予定です。

多彩な作物が生産される県北圏域では、農林水産業の経営体の育成に力を入れています。平成26年12月、久慈市宇部川地区の中心的な担い手組織として設立された、「農事組合法人宇部川ファーム」。同地区では被災農地を含む約80haのほ場整備が進んでおり、平成27年度から本格的な水稻作付けを開始しました。「高齢化や後継者不足などの問題もあり、個人でできることには限界がある。組織という形で結束することで、地域に恩返しができれば」と話すのは、鹿糠沢津嘉(かぬかざわつよし)組合長。今後は、地域の畜産と連携した飼料用米や施設園芸にも取り組みながら、後継者の育成に力を入れていきたいと考えています。



「しっかり収益を上げて自立できる組織にすることが大事」と話す、鹿糠沢津嘉組合長。

地域編 県南広域振興圏



これまで企画した婚活イベントのチラシ。女性スタッフが講座・イベントを企画運営しています。



県南圏域では、若者や女性の地元定着を促し、活躍できる環境づくりに力を入れています。NPO法人ファンズポルト一関は「ネットサルを中心とした総合型地域スポーツクラブとして、新たなネットワークづくりを支援する事業を展開。その中で平成25年度から取り組んでいるのが、「いちのせき結婚活動サポートセンター」の運営です。講座やイベントなどを通じ、自身男女の出会いや交流の場を提供しています。「自分磨きの講座や100人規模の婚活イベントなど、誰もが楽しめるよう工夫し、企画しています」と、スタッフの皆さん。多くの機会を通じて出会いを広げ、地域活性化にもつなげています。

県央広域振興圏

都市と農山村が広域的に連携し合いながら北東北の拠点としての機能を担う地域

県北広域振興圏

培われた知恵・文化、多様な資源・技術を生かし、八戸圏域等との交流・連携を深めながら、持続的に発展する活力みなぎる地域

県南広域振興圏

「連繫(れんけい)」と「協働」により、地域の資源を生かしながら世界に誇れる岩手をリードする地域

沿岸広域振興圏

沿岸広域振興圏は、東日本大震災津波からの復興が最重要の課題であることから、当面は「岩手県東日本大震災津波復興計画」に基づき取り組みを進めています。

行政経営編  
第3期アクションプランでは、経営感覚をもって、重要な課題に取り組み、成果を挙げる「行政経営」の視点を重視していきます。次の4つの基本方針に基づいて、地域の特性を生かしつつ、先進的な視野を持ち、ICTなども積極的に活用しながら、政策編や地域編を含めた県民計画全体の目標達成に向けて取り組みを推進します。

4つの基本方針

基本方針1	基本方針2	基本方針3	基本方針4
いわての未来づくりを支える専門集団への更なる進化	多様な主体の連携・協働による公共サービスの提供	いわてを支える持続可能な財政構造の構築	活力に満ちたいわてを実現する分権型行政システムの確立

いわて県民計画「第3期アクションプラン」は、県公式ホームページからご覧ることができます。  
いわて県民計画 サイト内検索





女性が開発した  
いわて生まれの  
『pecco』に注目！

## 女性に人気の 「pecco(ペっこ)」って!?

県内さまざまなメーカーの商品を少量・小分けにし、統一デザインで発信する岩手県のプライベートブランドだよ。  
※「ペっこ」とは岩手の方言で「少し」の意味。

**開発者は岩手の女性。  
見た目もカワイイし  
お土産にも良さそう。**

53品目(平成27年12月現在)と種類も多彩で、食べきりサイズがいいよね。味やデザインにこだわる女性チームが開発しているから、見た目もおいしさも折り紙付き。2014年度グッドデザイン賞も受賞してるの。

**ナビゲーター 福田 萌さん**  
もえ  
滝沢市出身。バラエティや情報番組を中心に活躍中。「輝女(キラジョ)をいやす、いわて旅」の会のメンバー。



# とっておき! キラキラ いわて



三陸のいろいろな味が  
楽しめる『バルpecco』。



### キラキラポイント!

ペっこずつ楽しめるのがうれしい!  
私も岩手のいろいろな味を楽しもう。

\*「pecco」に関するお問い合わせは  
岩手県産(株)019-626-8178(らら・いわて)  
まで。

## 質問に答えてプレゼントをゲット!

### A 季節野菜の平麺ぱすた

3種～冬～(陸前高田市)

野菜ソムリエが米と野菜から作ったパスタを3種類セットで。岩手県ふるさと食品コンクール「最優秀賞」受賞。

3名様

[問]ひろいちファーム  
0192-47-3991



### B わかめのディップソース

(遠野市)

大船渡産ワカメと遠野産タマネギの甘酸っぱいソース、野菜や揚げ物によく合います。着色料・保存料不使用。

5名様

[問]遠野ふるさと公社  
0198-62-0888



(1)記事は分かりやすかったですか?(番号で回答)

①非常に分かりやすい ②分かりやすい ③普通 ④分かりにくい

⑤非常に分かりにくい

※④または⑤の方は、どのような点が分かりにくかったか参考にお教えてください。

(2)今回の企画で興味を持ったものは何ですか?

(3)県政で興味のあるものは何ですか?(番号で回答・複数回答可)

①地域防災 ②医療 ③福祉 ④雇用 ⑤産業振興 ⑥その他( )

※⑥その他の方は、興味のあるものをお書きください。

(4)本誌へのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートにお答えいただいた皆さんの中から抽選で合計8名様にプレゼント。住所・氏名・年齢・職業・電話番号・ご希望商品のアルファベット記号(AまたはB)をお書き添えのうえ、はがき、FAX、電子メールでお送りください。■送り先 ○はがき 〒020-8570(住所不要) 岩手県広聴広報課「いわてグラフ3月号・読者アンケート」係 ○FAX 019-651-4865 ○電子メール kouhou@pref.iwate.jp

■応募締切／平成28年3月28日(月)当日消印有効 ■当選発表／商品の発送(4月中旬頃)をもって代えさせていただきます。

\*ご記入いただいた個人情報やアンケートの内容につきましては、厳正な管理のもとで取り扱い、アンケート集計、プレゼントの発送にのみ利用させていただきます。

岩手県出身のタレント福田萌さんが、女性目線で「岩手のとっておき!」を紹介するこのコーナー。わんこきょうだいと一緒に、岩手の魅力を皆さんにナビゲートしていきます。



### 「バル」に「ヘルシー」 新ラインがデビュー!

昨年の12月には、お菓子に加え、水産加工品を中心とした「バル(居酒屋)pecco」と素材を生かした「ヘルシーpecco」が新登場! メーカーと協力して、これまでとは違う味わいの商品も開発してるんだ。

### “岩手のおいしさ” を多くの人にへ!



いろいろ選べる楽しさが増えた「pecco」。今後も新たな商品を企画し、岩手のおいしさを県内外の多くの人にPRしていくというから、目が離せないね!